

新宮山彦ぐるーぶ第1997回

三井寺・宗智証大師御正忌会法要へ参列・拝観

◇実施日：2018年10月29日(月) 晴

◇参加者：川島 功、沖崎吉信、大江加予子・徳子、畑清子、高階美根子。 6名。

三井寺から宗智証大師のご命日に遺徳を偲ぶ御正忌会法要のご案内と三井古流煎茶会へのご招待が毎年あり、しばらくご辞退していましたが、平素よりご支援ご指導を賜っていること等もあり参列・拝観する事にした。

沖崎車は、大江・畑林・川島宅に迎えに来て下さり、鶴殿5時50分に出発し、7時半過ぎに紀北Pで高階さんに乗せ、伊勢道・安濃SAにて7時40分頃に着き小休止。新名神道を経て名神道・大津ICで降りて、三井寺(園城寺)正面駐車場に9時前に到着。

仁王門横の拝観受付で「御正忌会出席」を告げて通り、金堂への階段前から左寄りに進むと唐院参道が在り、右上に三重塔が見える。唐院の四脚門を通り灌頂堂前庭左横に受付があり、9時15分一番最初にお供え(五万円)と記帳をする。ピンクリボンと昼食券が渡され、リボンを付ける。



仁王門前横にて



唐院(四脚門)への参道



受付後・リボン付ける

御正忌会法要は、10時からなので各自が境内を拝観する。女性陣は、西国第14番札所「観音堂」の御朱印記帳に行かれ、川島は一切経蔵・熊野権現社・弁慶鐘・関伽井屋・金堂・三井の晩鐘を拝観して戻り、受付に居られた福家俊彦執事長にご挨拶をする。灌頂堂正面と右に参列者のテントが在り、我々は右テント内の椅子に着席した。

10時より福家英明長史猊下を導師に衆僧が、大師堂宝殿に入堂し僧讃され、同時に灌頂堂で三井古流煎茶道の点前による献茶式が行われ宝殿に献茶された。

その後出堂されて灌頂堂に入堂し、福家長史猊下導師にて法華經等が僧讃され時折堂内に散華されている。11時前より、参列者約200名のご焼香が行われ、智証大師の遺徳を偲ぶ法要が厳修され11時15分頃に導師・衆僧が灌頂堂から出堂され終了する。途中、真言系の龍象寺・浅井證善師(峰の友代表)が一時参拝されていた。

女性陣は、堂内の散華を拾う。参列者は靴を脱ぎ御座敷に導かれて大師堂に入堂し、開扉の国宝・智証大師坐像を拝顔し、渡り廊下を一巡して灌頂堂の靴を脱いだ所に戻る。



熊野権現社



導師・衆僧の大師堂入堂



灌頂堂に入堂



参列者のご焼香



大師堂入口と灯明の堂内



大師堂内の智証大師像

参列者は、駐車場横の売店・食事処の「風月」に移動し、着いた人から2階へ上がり上座から順に着席し、我々は真ん中辺りに着席する。昼食は豪華な精進料理を頂いた。

しばらくして、上座中央に福家長史猥下(玉岡さん)と同年の93歳)が着席されておられる事に気付く。程なく早く着席された上座の方が昼食を終えて順次退席され、福家長史猥下お一人で食事をされておられる。良い機会だと沖崎氏とご挨拶に赴き「新宮山彦ぐるーぷの玉岡さんから引継いだ世話人代表の川島です、来年より沖崎が世話人代表となりますので宜しくお願いします」と紹介とご挨拶をする。沖崎氏は名刺を渡してご挨拶されると「当方の若い者がお世話なので宜しく」と言ってお下さる。

昼食退席時には、福家俊彦執事長にも、沖崎と一緒に世話人代表は沖崎氏に交代する報告のご挨拶をして退席する。この世話人代表交代の報告は、今回参列した理由の一つなのである。

三井古流煎茶会の招待券は、川島分の2枚だけで(玉岡さん宛分手違いで不持参)あるが、4名も受け入れてもらえらると思うので女性陣に茶会へ行く事を勧めたが、今回辞退するとのこと。

三井寺は紅葉の名所であるが、紅葉には未だ早いので、此処や他所にも立寄らずに帰宅する事にした。

帰路は、沖崎車を大江徳子さんが運転して、12時40分頃に三井寺を発ち、亀山PAで小休止後、16時前に帰新した。

(記；川島)